

タッチフリーのSIを使う競技者へ

カードはタッチフリー専用のカード（SIAC）を使用しますが、コントロールステーションは従来と同じ穴の開いたステーションを使用します。

[パンチ方法]

タッチフリーではSIACをステーションから50cm以内に近づければパンチが完了し、SIACが光と音を約3秒間発生します。通常の穴差しパンチの場合にはステーションが光と音を出すので、この点が大きく異なります。パンチしたときは必ず自分のSIACの音か光を確認してください。

何人かで同時にパンチしたときは、音が聞こえても、他人のパンチの音の場合もあるので、**自分のSIACの光を確認するのが最も確実**です。なお通常パンチと異なり、人の後ろからでも近づいて手を伸ばせばステーションは十分反応します。

[スタート前に]

SIACは電池を内蔵しています。その電池の電圧が低下すると、正常な動作ができません。レンタルSIACの場合は主催者が事前に電池のチェックを行いますが、マイSIACの場合には主催者が用意するBattery testユニット（右図）でチェックを行ってください。OKが表示されれば競技に使用できます。

[SIACの電源ON/OFF]

SIACは内蔵の電池の消耗を防ぐために保管状態では電池OFFになっています。**タッチフリーはON状態でしか動作しません。**SIACはクリア後の**チェックでON状態**になり、**フィニッシュでOFF**に戻るので、通常のルーチンを守っていれば特に問題はありせん。ON状態では、SIAC先端にある非常に小さな緑色のLEDが10秒に1回光るので確認してください。

競技途中でフィニッシュの近くは絶対に通らないでください。SIACをいったんOFF状態にしてしまうと、それ以降タッチフリーステーションは一切反応しなくなります。ただしこの場合でも穴のあるステーションの場合は、穴に差し込めばタッチフリーではない従来の使用モードでパンチができます。

[フィニッシュ]

フィニッシュは、コントロールと同様のステーションを用いたパンチングフィニッシュと、2つの大型ステーション間を通過するだけで良いゲート型フィニッシュの2種類がある。後者の場合は単純にそのゲートを走り抜ければフィニッシュできます。

[SIACとGPS時計]

GPS 時計のアンテナが SIAC の感度を大きく低下させるので、SIAC と GPS 時計は同じ腕に取り付けしないでください。下記の写真はアームベルトを使った例ですが、指でも同じです。

